



青 於

4月号



15名の新1年生を迎えて30年度スタート

3月下旬に満開になった校庭の桜の花も、すっかり散って葉桜になってしまいました。が、花壇のチューリップが満開になり、15名の新入生の入学を祝ってくれました。例年になく転入生があり、昨年度よりも多い、全校児童98名でのスタートとなりました。

4月10日（火）の入学式当日は、真岡市教育委員会学校教育課長 吉住忠明様、真岡市議会議員 渡邊 隆様、PTA会長 飯塚武敏様、さらには、地域の皆様、保護者の皆様など、多くの方々に祝福していただき、入学式を挙行することができました。

校長式辞では、「新入生の入場や呼名に対する返事がよくできたので、さらに素晴らしい1年生になるためにやってほしいことを、3つ話しました。1つ目は「楽しく勉強しよう」です。先生の話をよく聞くと、いろいろなことが分かり、勉強が好きになります。勉強が好きになると、ますます勉強が楽しくなります。二つ目は「友だちをたくさんつくろう」です。友だちに優しく接することが大切です。自分がしてほしいことを、友だちにすることができると、たくさん友だちをつくることができ、学校が楽しくなり



ます。三つ目は「元気なあいさつをしよう」です。元気な声であいさつができると、あいさつをした人はもちろん、あいさつをされた人も、とてもよい気持ちになります。友だちや先生、家の人や近所の人に、元気なあいさつをしましょう。」などを話しました。

交通安全教室 (4/19)

日本が戦争に負けて、沖縄はしばらくの間、アメリカの領土でしたが、昭和47年に、日本に返還されました。日本とアメリカの交通ルールが違う（アメリカは「車が右、人は左」）ので、沖縄の人たちは、交通事故が多発するだろうと、とても心配していました。ところが、沖縄の人たち全員が、「止まる」「確かめる」を行った結果、交通事故が今までの半分に減りました。



朝会の話(4/16)「青於学舎」

大内西小は、明治7年に、「第1大学区第40番中学区第55番小学青於学舎」という名前で、開校しました。「青於学舎」の由来について説明します。今から2300年ぐらい前の中国に、荀子（じゅんし）という思想家がいました。荀子は、性悪説を唱えたことでも有名ですが、荀子の著書「勸学篇第一」の中に、「青取之於藍、而青於藍」ということばがあります。そのことばの意味は、「青い色は、藍という植物から取るが、その色は、そのもとである藍よりもさらに青い。」ということです。しかし、これは、「藍」を「先生」、「青」を「子ども」、にたとえて言ったことばで、本来は、「子どもたちは、先生から勉強を教えてもらうけど、先生よりも勉強ができる人になってほしい」という意味があります。

現在は、子どもたちが毎日見ることができる所（昇降口の左側）に「青於」の石碑がありますが、「大内西小の子どもたち（青）が、一生懸命に勉強して、先輩や先生（藍）よりも立派な人になってほしい」という願いが込められています。



H30 職員紹介

校 長	奥畑 洋市	教 頭	山口 和元	教務主任	石岡美智雄
1年担任	大関 桂子	あおぞら学級	野口 順子	副 担 任	菱沼はなみ
2年担任	水沼久美子	3年担任	稲見 有紗	4年担任	村田 博司
5年担任	馬橋登志子	6年担任	岩村 郁男	養護教諭	岩渕 友美
事 務 長	手塚 峰子	用 務 員	中田 勇一	※文字囲は、新任です。	

このスタッフで1年間がんばりますので、ご協力よろしくお願いします。



大塚由理子先生、AETのアイバン先生が大内西小に来校しました。大内西小を去られた2人の先生とのお別れの日になるので、児童たちは先生方の話を感謝の気持ちで聞いていました。離任された先生方の今後の活躍を期待します。（4/11の予定でしたが、大塚先生の義父の葬儀のため延期しました。）

離任式 (4/23)

授業参観 (4/20)

